

★インクルファンドで助成した団体を紹介します★

一般社団法人 calin(カラン)昭島 キッズサポートてんとうむし (昭島市)

市民版地域福祉
計画に基づく
事業の立ち上げ

「キッズサポートてんとうむし」は、看護師・療法士・保育士・児童指導員等により、医療ケアの必要な子どもも利用できる、児童発達支援と放課後等デイサービス。昭島市には重症心身障害児を受け入れている放課後等デイサービスがなく、児童発達支援事業についても数が限られており、他市のサービスに頼らざるを得ない状況でした。そのような中、重度の障がいをもつ子どもの親と出会い、理学療法士の資格を生かして地域で何かできないかとずっと考えていた代表の清水敦子さんは、昭島地域協議会の市民版地域福祉計画作りのワークショップに誘われて参加、そこでまちづくりのことを話せる仲間と出会い、開設に向けて背中を押されたといいます。

コンセプトは「重度の障がいを抱えた子どもたちが、穏やかに、いつも元気でいられるように、そしてご家族が少しでもくつろぎの時間をもていただけるように、共に歩み共に生きるまちづくりをめざします。」「心身に重度の障がいをもつ子どもたちの、学校でも家でもないもうひとつの居場所としていきたい。ゆっくりやろう。楽しい、気持ちいいと思えることをやっていきたい。」と清水さん。一人の子どもにいろんな方向から関わり、将

来的にもどんな支援ができるかを考えながら運営しています。スタッフは、事業所の思いをわかってくれる人というのが大前提で、すべて清水さんの知人や、人のつながりを通じて集めたとのこと。

現在(昨年12月)の登録者は21人(児童発達支援16人・放課後等児童デイ5人)、体験会やお披露目会でチラシを配布し、参加にした人から口コミで広がりました。4月からは送迎コースを整え、運転士も増やしていく予定です。(インクルーシブ事業連合事務局 平岡晴子)



「家に帰ってきたみたい」なアットホームな事業所です



生き生きとした表情の利用者の皆さんとスタッフ

一般社団法人 calin (カラン) 昭島
場所：昭島市上川原町 3-8-22
電話&ファックス：042-808-8852

サポーター募集中！ あなたの1日10円で、つながり・支えあう豊かな地域社会をつくらう！

サポーターとは『地域ごとに必要な機能をつくり、市民が参加し利用するまちづくり型福祉』を推進し、豊かな地域社会づくりにつなげるために、インクルーシブ事業連合の運営および助成の財源を寄付で支える、個人または団体のことです。

<会費> 個人 3,600円/年 団体 10,000円/年

※生活クラブ組合員の場合、登録制で300円/月を共同購入代金と一緒に引き落とすことができます。

★サポーターになるには、下記の登録申込書をファックスまたは郵送していただくか、

ホームページのお申し込みフォームからご登録ください。URL <http://inclusive-gr.com/>

郵送先：〒156-0051 世田谷区宮坂3-13-13 3F「生活クラブ・東京」内 インクルーシブ事業連合
ファックス: 03-5426-5203 電話: 03-5426-5207

お名前			
ご住所	〒		
電話番号		メールアドレス	
所属	・生活クラブ生協(組合員コード:) ・運動グループ(団体名:) ・その他()		
申し込み口数	個人 () □	・ ・ ・ 1 □	3,600円/年
	団体 () □	・ ・ ・ 1 □	10,000円/年

*ご記入いただいた個人情報は、インクルーシブ事業連合のサポーター登録およびお知らせの送付に限り使わせていただきます。

つながって実現! 市民主体のまちづくり型福祉

インクルーシブ通信

2017年3月
VOL.19



発行：生活クラブ運動グループ・インクルーシブ事業連合 発行責任者：土谷雅美 <http://inclusive-gr.com>

〒156-0051 東京都世田谷区宮坂3-13-13 生活クラブ・東京内 TEL 03 (5426) 5207 FAX 03 (5426) 5203

インクルーシブ事業連合 2016年度の活動報告

●子育て支援フォーラム

昨年度に引き続き、子どもの貧困にスポットを当て、さらに課題を掘り下げる視点で開催。貧困の連鎖の構造について学び、事例報告では地域で支えあうつながりをつくることの重要性を発信しました。

*講師：山野良一さん(名寄市立大学保健福祉学部教授、「なくそう!子どもの貧困」全国ネットワーク世話人)



●子育て支援共育講座

発達障がいの子どもの寄り添い型の支援について、ともに学びあうことを目的として開催、保育事業や活動の担い手を中心に35名が参加しました。

*講師：石川憲彦さん(児童精神科医・小児科医)



●居場所フォーラム開催支援

長期計画や市民版地域福祉計画策定の中で関心の高まっている地域の居場所づくり。そこで、地域協議会が主催する、居場所づくりフォーラムの開催費用を助成するしくみをつくりました。

*世田谷での開催の様子。写真は世田谷・生活者ネットワーク政策委員・岡本京子さん



●ともに働く事業所支援

仕事の切り出し調査&事業所別寄付

就労に困難を抱える人とともに働く場づくりを進めるために、地域協議会を通じて運動グループの各団

2017年度総会のお知らせ

- 日時 2017年6月17日(土) 14:00~16:00
場所：生活クラブ館 B1 スペース
*インクルファンドで助成した団体の活動報告も行います。
- 問い合わせ：TEL 03-5426-5207 事務局：平岡・稲宮
メール：info@inclusive-gr.com

【インクルーシブ事業連合構成団体】生活クラブ生協・東京/NPO 法人アビリティクラブたすけあい(ACT)/社会福祉法人悠遊/東京ワーカーズ・コレクティブ協同組合/東京・生活者ネットワーク/東京コミュニティパワーバンク/認定 NPO 法人市民シンクタンクひと・まち社/認定 NPO 法人まちぼっと/環境まちづくり NPO エコメッセ

体に仕事の切り出し調査を行いました。

また、ともに働くことを実践している事業所を広げるため、スポット寄付に事業所指定寄付のしくみを新たに作り、3団体が登録し寄付を募りました。

●居場所をテーマに福祉ツアー実施



* いっちゃん家にてぶるぼの工房の藤木さんより説明を受ける

地域で実践する人材の掘り起こしにつなぐことを目的とし、居場所づくりをテーマに府中市の「いっちゃん家」・国立市の「やぼろじ」「かふえかサムシカ」の3か所を見学、17名が参加しました。



* やぼろじ代表・建築家の和久さんの説明を聞く



* かふえかサムシカにて、代表の辰田さんにほっとスペース事業のお話を聞く

●インクルファンドによる助成事業

2016年度に助成した団体は8団体、助成額は合計4,311,557円です。年間予算700万円とし、「市民版地域福祉計画」



* 親子コワーキング (2016年度第1回助成)

に基づく事業の立ち上げに対し300万円を上限に助成する枠を設け、昭島の重度心身障がい児を対象とする児童発達支援・放課後等デイサービス事業の立ち上げに助成しました。

●ワーカーズまちの縁がわ推進

今年度は新たに板橋・小平・小金井で縁がわワーカーズが設立され、ほっとスペースは10か所になりました。16年10月には、縁がわの活動への参加を広げるため縁がわフォーラムを共催し、65名が参加しました。